「故障かな？」と思ったときは

スイッチを「(入)」にしても通電しない。	差込みプラグをコンセントに差し込んでいますか。
湯が出ない。	水容器に水が入っていますか。 水容器は正しくセットされていますか。
コーヒー豆が挽けない。	スイッチが「(切)(ミル入)」になっていますか。 ミルケース、ミルふたが正しくセットされていますか。

アフターサービスについて

1.保証書の内容のご確認と保管のお願い。
必ず「販売店印及びお買上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管しておいてください。
2.保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
3.修理を依頼されるとき
《保証期間中》
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理をさせていただきます。
《保証期間を経過しているとき》
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
●販売店にご依頼にならない場合には、お近くの別紙お客様ご相談窓口にご連絡ください。
4.コーヒーメーカーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。
●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5.上記の内容についてのお問い合わせ、ご質問がございましたら、別紙お客様ご相談窓口までお気軽にご相談ください。
※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

愛情点検

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか
- ●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる。
- ●ガラス容器のとっ手がぐらつく。
- ●その他の異常や故障がある。

お願い
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

コーヒーメーカー　無料修理保証書　持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書の記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理致します。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、お客様宅での出張修理をご希望の場合は、出張に要する実費を申し受けます。

型　名	EC-VE60		
保証対象部品	無料修理保証期間	部　品　代	工料など
本　体	1年	無	料
※お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
※お客様	ご芳名　　　　　　様		
	ご住所		
	TEL　(　　)		
販売店	※店名　　　　　㊞		
	住所　　TEL　(　　)		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1.　保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
(ロ) 使用上の誤り、及び改造や不当な修理による故障及び損傷。
(ハ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載)に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 消耗部品の交換。
2.　ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理が依頼できない場合は、別紙のお問い合わせカードに記載のお客様ご相談窓口までお問い合わせください。
3.　本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.　本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、別紙のお問い合わせカードに記載のお客様ご相談窓口までお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

修理メモ

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　☎(06)6356-2391

EC-VE60型　©

ZOJIRUSHI　　家庭用

コーヒーメーカー 珈琲通®

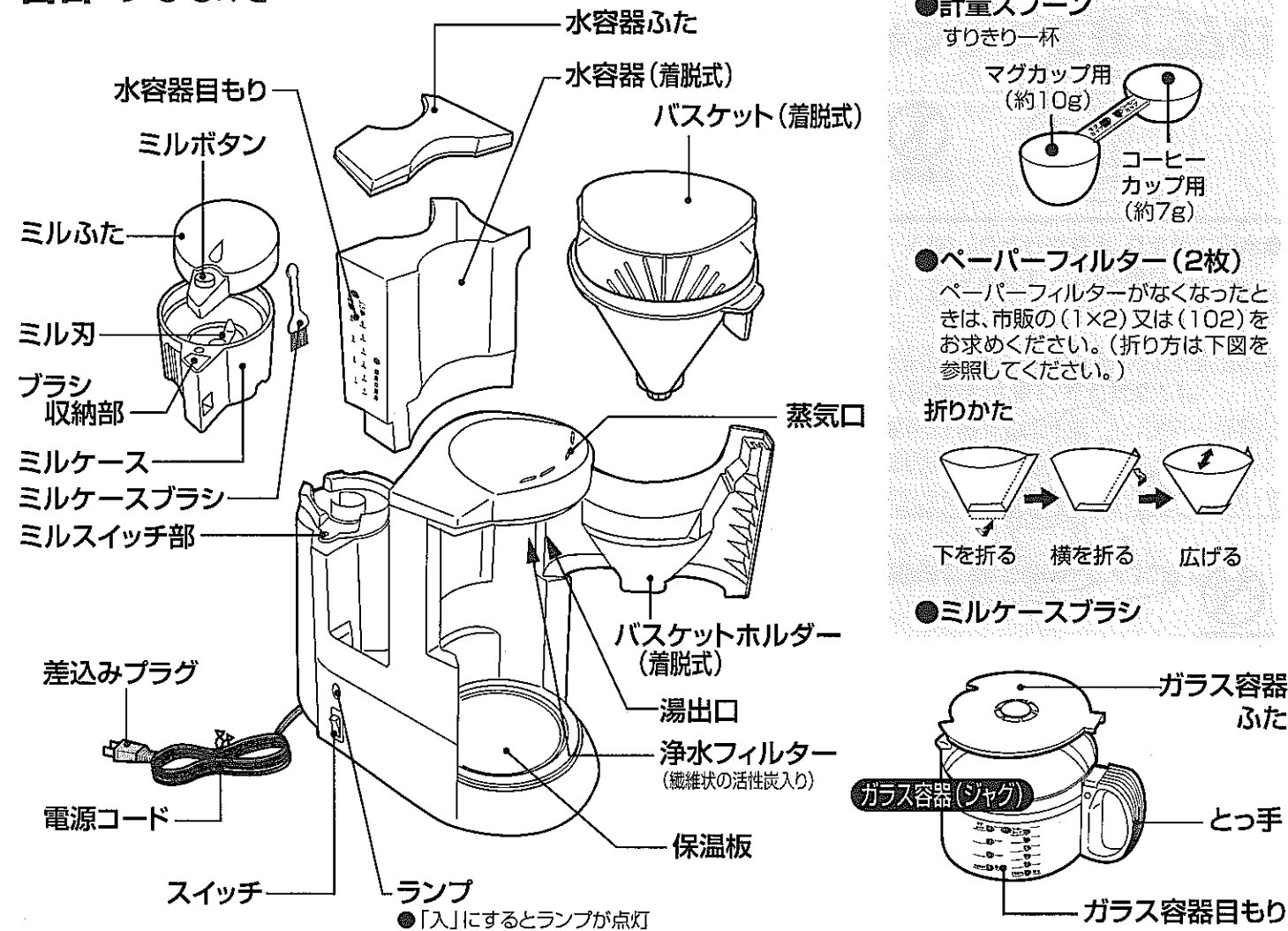
型名 EC-VE60　取扱説明書

保証書つき

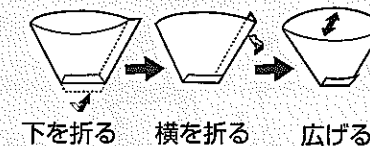
このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

各部のなまえ

- 水容器ふた
- 水容器（着脱式）
- 水容器目もり
- バスケット（着脱式）
- ミルボタン
- ミルふた
- ミル刃
- ブラシ収納部
- ミルケース
- ミルケースブラシ
- ミルスイッチ部
- 蒸気口
- バスケットホルダー（着脱式）
- 湯出口
- 浄水フィルター（繊維状の活性炭入り）
- 差込みプラグ
- 電源コード
- 保温板
- スイッチ
- ランプ
●「入」にするとランプが点灯

付属品

●計量スプーン
すりきり一杯

●ペーパーフィルター（2枚）
ペーパーフィルターがなくなったときは、市販の（1×2）又は（102）をお求めください。（折り方は下図を参照してください。）

折りかた

●ミルケースブラシ

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前に

※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未 然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性がある内容を表わしています。
⚠注意	取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容を表わしています。

記号について

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。左図の場合は「感電注意」を示します。

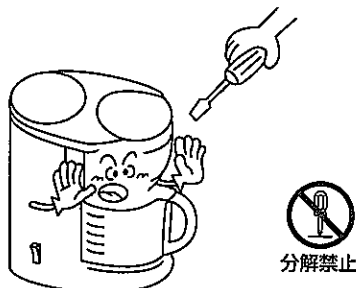
⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」を示します。

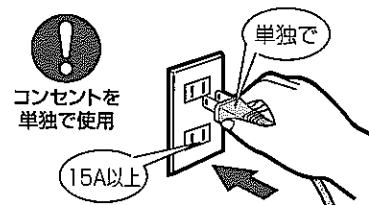
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の左は「差込みプラグを抜く」、右は必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでもみられるところに必ず保管してください。

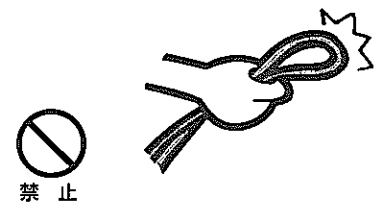
⚠警　告

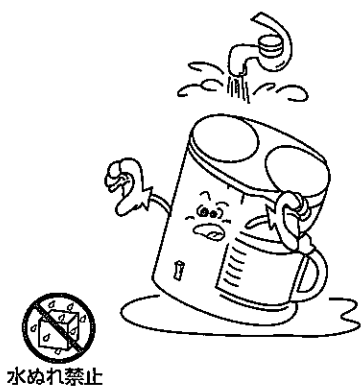
●**改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない**

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または、当社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●**定格15A以上のコンセントを単独で使う**

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

●**電源コードを傷つけない**

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁　止

●**水につけたり、水をかけたりしない**

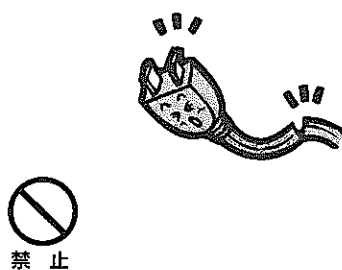
ショート・感電の恐れがあります。

●**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない**

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁　止

●**電源コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**

感電・ショート・発火の原因になります。

禁　止

●**容器（ガラス容器）なしで使わない**

やけどをする恐れがあります。

禁　止

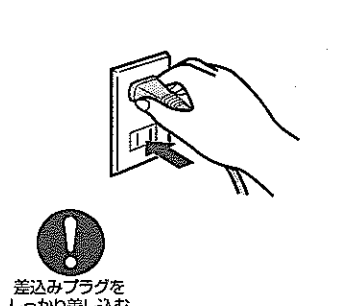
●**交流100V以外では使用しない**

火災・感電の原因となります。

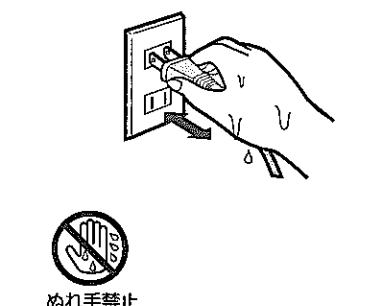
禁　止

●**差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む**

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

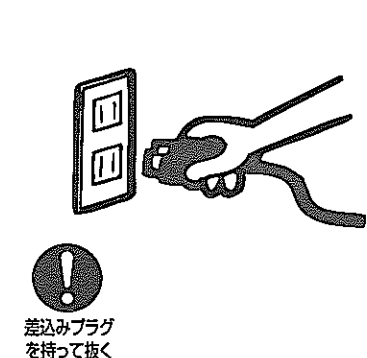
差込みプラグをしっかり差し込む

●**ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない**

感電やけがをすることがあります。

ぬれ手禁止

⚠注　意

●**差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く**

感電・ショート・発火の原因になります。

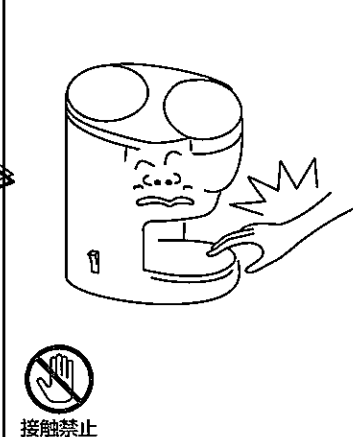
差込みプラグを持って抜く

●**不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない**

火災の原因となります。

禁　止

●**使用中や使用後しばらくは高温部に手を触れない**

やけどやけがの原因となります。

接触禁止

●**ミルケースに手を入れない**

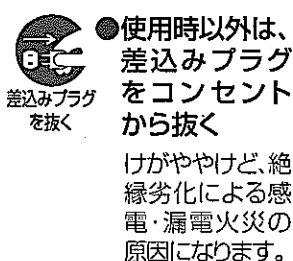
内部の刃でけがをすることがあります。

接触禁止

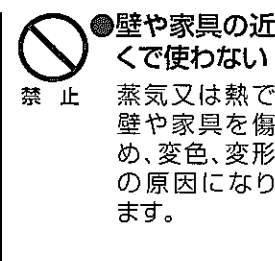
差込みプラグを抜く

●**使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く**

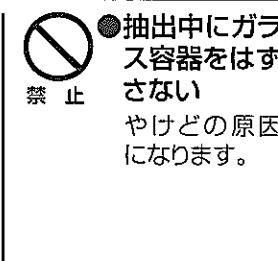
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

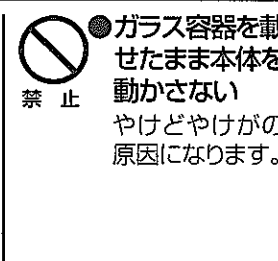
禁　止

●**壁や家具の近くで使わない**

蒸気又は熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

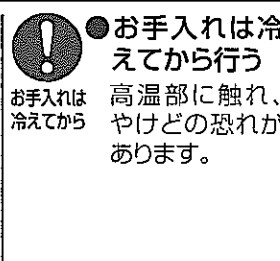
禁　止

●**抽出中にガラス容器をはずさない**

やけどの原因になります。

禁　止

●**ガラス容器を載せたまま本体を動かさない**

やけどやけがの原因になります。

お手入れは冷えてから

●**お手入れは冷えてから行う**

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お願い

●**水にぬれた場所で使用しない**

感電の原因になります。

●**空だきはしない**

保温時以外に水容器に水を入れずに通電すると故障の原因になります。

●**ガラス容器を直火にかけたり電子レンジで使用しない**

割れたり、とっ手が変形したり金属部から火花が飛び散る原因になります。

●**ガラス容器は、落としたり、硬いものにぶつけたりしない**

●**ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない**

傷がつくと破損しやすくなります。もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう十分ご注意ください。

●**水容器に水以外のものを入れない**

牛乳や酒、コーヒー、湯など水以外のものを水容器に入れると故障の原因になります。

●**続けてコーヒーを作る場合はスイッチを「切」にして、約5分以上待つ**

本体が熱いうちに給湯したり動かしたりすると湯出口から突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

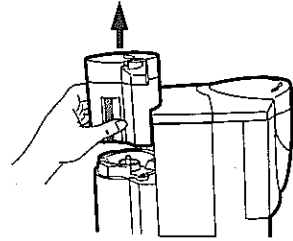
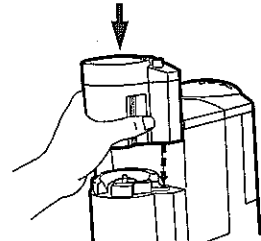
※イラスト（絵）は、一部異なることがあります。

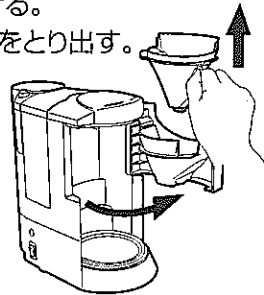
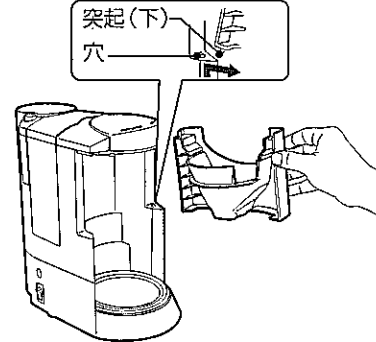
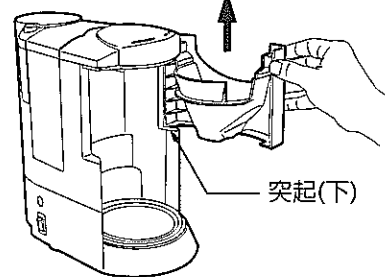
正しい使い方

この商品は、コーヒー豆を挽き、コーヒーを作るためのものです。
コーヒーを作ること以外に使用しないでください。牛乳や酒、コーヒー、湯など水以外のものを水容器に入れると故障の原因になります。
※この商品は家庭用です。業務用では使わないでください。

- 初めてご使用になるときや長期間使用しなかったときは浄水フィルター・ガラス容器・バスケットなどを洗い、水だけで 1〜2回ドリップしてください。
- 使い初めのうちは、プラスチックのにおいがすることがありますが、次第ににおいは少なくなります。また初回は活性炭の黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害であり、使用上差しつかえありません。

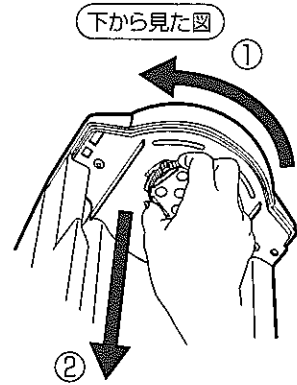
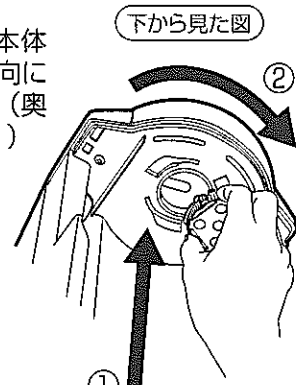
ミルケースのはずし方・取り付け方

●はずし方
ミルケースを持って、上に持ち上げます。

●取り付け方
本体のミルスイッチ部とミルケースのミルスイッチ部の位置を合わせて取り付けます。

バスケット・バスケットホルダーについて

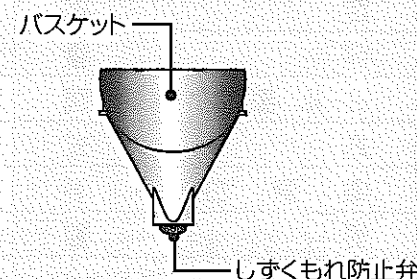
●バスケットのとり出し方
①バスケットホルダーのとっ手を持って開ける。
②バスケットをとり出す。

●バスケットホルダーのはずし方(ガラス容器を取りはずしてから行ってください。)
①バスケットホルダーを押し上げて、突起(下)を浮かせる。
②突起(下)を矢印の方向にずらして下方向にはずします。

●バスケットホルダーの取り付け方
突起(上)を差し込んでから、突起(下)を本体の穴に合わせてはめ込みます。

浄水フィルターについて

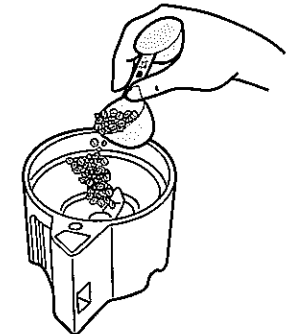
沸とうした湯を浄水フィルターに通し、カルキ臭を減らします。

●はずし方
浄水フィルターを矢印①の方向へ回してから、矢印②の方向(下)へはずします。
※湯を完全に取り除き、本体が十分に冷えてから行ってください。(やけどをする恐れがあります。)

●取り付け方
浄水フィルターのつめ部を本体の凹部に合わせて矢印①方向に入れ、矢印②方向に回します。(奥まで、しっかり固定させます。)

※水質などにより、浄水フィルターが変色(茶色)することがありますが、使用上差しつかえありません。

しずくもれ防止機能について

- ガラス容器ふたをしたガラス容器を本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがバスケットからもれないようにするしくみです。

ミル

1 コーヒー豆を入れる

ミルケースにコーヒー豆を入れ、ミルふたをする。

標準使用量

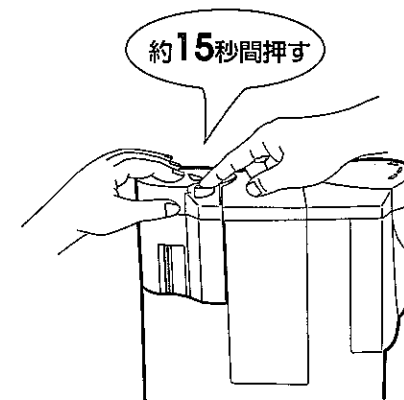
コーヒーカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
6カップ	6杯(約42g)
5カップ	5杯(約35g)
4カップ	4杯(約28g)
3カップ	3杯(約21g)
2カップ	2杯(約14g)
1カップ	1杯(約7g)

マグカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
4カップ	4杯(約40g)
3カップ	3杯(約30g)
2カップ	2杯(約20g)
1カップ	1杯(約10g)

- 計量スプーンのすりきり6杯(コーヒーカップ)又は4杯(マグカップ)をこえる豆を入れないでください。
- ミルふたはしっかりしめてください。ミルふたがあいていると、豆が飛び散ります。

2 スイッチを「(切)(ミル入)」にして差込みプラグを差し込む

3 豆を挽く

ミルふたを片手で押さえ、ミルボタンをもう片方の手で押して豆を挽く。

- 「約15秒」は、中びきの目やすです。ミル時間は、豆の種類・量や好みにより加減してください。
- ミルボタンを押し終わってもしばらくの間は、中のミル刃が回っていますので**完全に止まってから、ミルふたをはずしてください。**
- 25秒以上挽かないでください。微粉が多くなり、紙フィルターが目づまりしてコーヒーがあふれたり故障の原因になります。
- ミルを連続使用したりコーヒー豆以外の材料を挽いたりしないでください。(故障の原因になります。)
- **ミルスイッチ部を細い棒などで絶対に押さないでください。**
けがをする原因になります。

アイスコーヒーを作る場合

(準備)
- アイスコーヒー用豆 ●氷 ●シロップ・生クリームなど

(手順)
1 ホットコーヒーと同じ手順で作ります。
- 計量スプーンは"コーヒーカップ用"を使用する。
- 水量は水容器又はガラス容器の「(ICE)」の目もりに合わせる。

2 グラスに約8分目の氷を入れてできたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やす。

ご注意
アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2〜6カップで作ってください。

熱いコーヒーをお好みの方に

- あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。
- できあがったらガラス容器をそのまま保温板において、あたためてください。なお、長時間保温しますと、コーヒーの温度がしだいに上がって香りがぬけ、風味がなくなりますので、保温する時間は15分くらいまでとしてください。

連続してコーヒーを作るとき

スイッチを「(切)(ミル入)」にして、本体を5分以上冷ましてから「正しい使い方」の手順**1**より行う。
- 本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

正しい使い方つづき

ドリップ

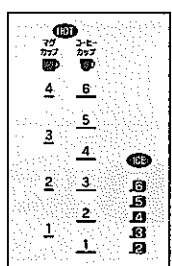
1 コーヒー粉を入れる

①バスケットホルダーを開きバスケットにペーパーフィルターをセットする。
②本体からミルケースをはずし、ひいた粉をペーパーフィルターに移す。
③バスケットホルダーを閉じる。

●細びき粉は使わないでください。ペーパーフィルターが目づまりし、コーヒー粉があふれることがあります。
●ミルケースに残ったコーヒー粉は、ミルケースブラシでペーパーフィルターに移してください。

2 水を入れる

①水容器を本体からはずし、作るコーヒーの量に合わせて水容器の目もりの線まで水を入れる。
②水容器にふたをし、本体にセットする。

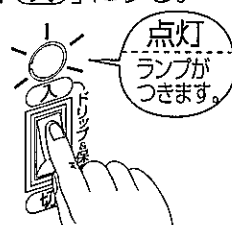
水容器目もり

●ガラス容器は、水容器へ入れる水量とコーヒーのできあがる量の目やすを示しています。
●湯は入れないでください。水容器の変形や飛び散りの原因になります。

3 ガラス容器をセットする

ガラス容器ふたをして保温板にセットする。

●ガラス容器ふたをしないと、しずくもれ防止弁が開かず、バスケットからコーヒーがあふれます。
●しずくもれ防止弁に無理な力を加えないよう静かに入れてください。

4 スイッチを入れる

差込みプラグをコンセントに差し込み、スイッチを「入」にする。

できあがり時間の目やす（水温・室温約20℃）

カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ	6カップ
コーヒーカップ	2.5分	3.5分	4.5分	5.5分	6.5分	8分
マグカップ	3分	4.5分	6分	8分	—	—

●できあがり時間は、水量・室温・電圧・豆の鮮度などで変わります。
●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。

5 スイッチを切り、コーヒーを注ぐ

①コーヒーができあがったら、スイッチを「切 ミル入」にする。
②ガラス容器を取り出して、コーヒーカップに注ぐ。

保温を続けるときは…
①スイッチは「入」にしておきます。
②ガラス容器にガラス容器ふたをしたまま保温します。
●長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、保温する時間は15分くらいまでとしてください。

6 使用後

必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜く。

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜いてあることを確認し、本体が冷めてからお手入れしてください。

なまえ	方法
本体	①台所用洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取る。 ②洗剤を使った後は、水でかたくしぼったふきんでふく。 ③最後に乾いたふきんで水気をふき取る。
水容器 水容器ふた バスケット バスケットホルダー ガラス容器 ガラス容器ふた ミルふた ミルケース	①台所用洗剤を含ませたスポンジなどで洗う。（台所用以外の洗剤などは使わないでください。） ②水洗いした後、乾いたふきんでふく。 ●本体・電源コード・差込みプラグに直接水をかけたり、まる洗いはしないでください。 ●ミルケース内のミル刃を変形させたり、ミル刃でけがをしないようご注意ください。
電源コード・差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく。
浄水フィルター	水で流し洗いし、洗ったあとよく乾かす。（洗剤は使わないでください。） ●目づまりしている場合は交換してください。
ミルケースブラシ	①台所用洗剤を含ませたスポンジなどで洗う。（台所用以外の洗剤などは使わないでください。） ②水洗いした後、よく乾かす。

●食器洗い乾燥機や食器乾燥機に入れて洗ったり乾燥させないでください。（部品の変形の原因になります。）
●熱湯は使わないでください。（変形や割れる原因になります。）

しずくもれ防止弁の洗い方

バスケットのしずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずコーヒーがもれることがあります。次の方法で毎回洗ってください。

●バスケットの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2〜3回押し上げ汚れを洗い流します。

湯の出具合が悪くなったときは…

●湯アカが付着し、湯の出具合が悪くなることがあります。
次の方法で取り除いてください。
※お手入れの前には、必ず浄水フィルターをはずす。（3ページ参照。）
浄水フィルターをつけたまま下記のお手入れをするとクエン酸のにおいがついたりコーヒーの味が変わる原因になります。
①ガラス容器にクエン酸小さじ1.5杯（約6g）を入れ、次にコーヒーカップの目もり「6」まで水を入れる。これをクエン酸が水に溶けるまでよくかきまぜ、水容器に入れかえる。
②ガラス容器とガラス容器ふた・バスケット・バスケットホルダーを本体にセットし、ドリップする。クエン酸溶液が水容器目もり「1」まで減ったとき、スイッチを切る。
③ドリップされたクエン酸溶液が冷めたら、中に混ざっている湯アカ（白い結晶など）を除いた溶液を再度水容器に入れ、②をくり返す。
④保温板が十分冷めてから、ガラス容器と水容器内にあるクエン酸溶液を捨ててすすぎ、水で数回ドリップする。

交換部品及び洗浄用クエン酸（ピカポット）について

●象印製品取扱店で次の①〜③の項目をご指定のうえ、お買い求めください。

①	品名	コーヒーメーカー用浄水フィルター	コーヒーメーカー用ガラス容器（ジャグ）	※ポット内容器洗浄用クエン酸（ピカポット）
②	型名	EC−F01	JAGECVE	CD−K03
③	色柄	本体側面の定格シールに表示 表示例　色柄:TD ハーブブラウン		—
④	希望小売価格	700円	2,000円	450円

※30g×4包入

浄水フィルターは消耗品です。水質や使い方により異なりますが約2年に1回が目やすです。
（1日1回使用した場合）

2001年2月現在

仕様

定格	ドリップ部	交流100V　650W	ミル部	交流100V　100W
容量		最大水容量　810mL		コーヒー豆量　7〜42g
ミル部定格時間	30秒			
方式	ドリップ式(保温式)			
電源コード	長さ1.3m(ゴムコード)			
質量	約2.4kg			
外形寸法(cm)	幅約28×奥行約16.5×高さ約30			